



ひまわりふぁみりーかるた written by Daisuke

北陸ワークショップは成功だったと思います。前日の夜に参加した自分としては大成功だったと思います。まず名古屋のお父さん達は本当に話せるのです。ヒッポで話せるようになるということ、身をもって教えてくれたと思いました。その中で興味深かったのは名古屋の”グレちゃん”と”ツトム(アリさん)”の話です。今日はその二人の話をしたと思います。

ツトムの話は僕の中ではヒッポに入会したころのビデオやワークショップでたくさん聞きました。11年前に入会した頃、名古屋でロシア語を話すすごいお父さんがいる。そういう印象が強かったです。本人や同じファミリーのメンバーに話を聞いたら、「最初は日本語だけだったよ」と言っていました。ツトムのすごいところは自分の交流の話を3年間ぐらい全国で話したとの事でした。日本語だけの報告が段々、ロシア語になりどんどん増えていったみたいです。今では最初から最後までほぼロシア語を歌え、字も自然に読めるようになったみたいです。2次会で隣に座りそんな話を聞いていました。

グレちゃんとは初対面でした。たまたま1次会で自分の右隣にグレちゃん、左隣に加賀の在日韓国人”キナンちゃん”が座っていました。途端に自分を挟んで韓国語の会話が始まりました。グレちゃんの韓国語を「とってもきれいな韓国語を話しますね。」とキナンちゃんに関心していました。自分がグレちゃんに「他の言語もたくさん話せるの？」と聞いたところ、ドバーとスペイン語でヒッポに出会った事を話してくれました。(内容は分かりませんが多分合っていると思います。)なぜヒッポに出会った話だと思ったかといいますと・・・。アマリージョという音とイデオマスという音が聞こえたからです。また「ロシア語の通訳を裁判でしたよ」とグレちゃんは言いました。「(ロシア語)いつの間にか読めるんだよねー。」とも言いました。

どうしてそんなに話せるようになったの？と聞いたところ一つはツトムの存在が大きかった。ツトムが話せるようになるのを目の当たりにした時、こんなおっさんでも話せるならと気持ちが変わった点がまず大きかったと言っていました。最初は子供のためにと始めたヒッポ。外国人に対しても日本にいたから日本語を話せと言っていたみたいです。でも楽しそうにツトムがロシア語を話すのを見てこれは本物かもと思ったみたいです。

次に夫婦で韓国に行った話を教えてくれました。「嫁さんは韓国でもペラペラだったんだよね、自分に話しかけられるとなんとなく分かるんだけど話してないから話せなかったんだよね。日本に帰ってから嫁さんはファミリーでペラ

ペラ報告していた。それをメタ活するようにマネしていたんだよね。」「あるとき違うファミリーに参加した時に嫁さんの真似をしたら、メンバーにグレちゃんいつの間に韓国語ペラペラになったのと言われたんだ。」「その時自分は嫁さんのメタ活をしているだけだと思っていたのが、聞く人によって意味のある言葉になるんだなーって思った。」「そう言われた時に榊原さんの言葉を思い出したんだよな。」その言葉は「意味は聞く人がつけるものなんだよー」という言葉でした。聞いてくれる人がいて初めて言葉になる。意味は聞く人がつけるものだよ。

その二つの出来事から向かう所敵なしの気持ちになり、たくさん歌えば話せるようになるという実感をもったそうです。そして2回のメキシコ交流にその後行った話などを聞きました。

自分自身が新宿ファミリーの時に脇ねえの話をたくさん真似ました。最初は全く分からなかった意味は今では全部分かります。そんな自分の体験とダブらせながら聞いていました。

やっぱり自分の話をたくさんして、たくさん歌う。そうすればあんな素敵なすごいお父さん達になれる。そう実感出来ました。だから自分にとっては大成功のワークショップでした。外部への刺激も大切だなと思いました。

思ったら即実行。1月27日の富山の体験会にさんちゃんが参加しています。1月28日に小松のファミリーに自分達一家が行く予定です。1月29日には東京リバーサイドホールで開催される”フェロウ開設オリエンテーションおよびお父さんワークショップ”に参加する予定です。2月4日には青少年ワークショップが開催されます。2月11日12日に孫燕（ソンエン）さんが再びスティする予定です。2月19日に名古屋の中部全体フォーラム準備会に参加予定・・・と。とりあえずは自分のファミリーで自分の話をたくさんするつもりです。

自分の話を継続してする。

意味は聞く人がつける、たくさん真似をする。

たくさん歌う事はたくさん話せる事につながっている。

以上

さんちゃん：090-4687-5277

大輔：090-2121-0582

Tel&Fax：076-262-0148

